

大学の教育研究上の目的（※各学部等規程より抜粋）

◆学部

【教育学部】

本学部は、新しい時代の学校教育を担う教員、中でも小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成することを主な目的とし、豊かな教養と優れた人格、幅広い実践的な能力を十分に備えた人材を育成する。

【社会情報学部】

本学部は、情報科学と人文・社会科学との融合のもとで、情報と人間の共存の在り方を追究し、高度情報化社会の要請に応える人材の育成、新しい学問分野の創造、地域社会及び国際社会に貢献することを目的とする。

【医学部】

医学科は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 高い倫理観を持って患者中心の医療を実践し、医療チームのスタッフから信頼される医師
- (2) 広い医学知識と高い臨床能力を持ち、進歩する医学知識・医療技術を、生涯にわたり獲得し続けることのできる医師
- (3) 高度な研究を推進し、その成果を社会に還元できる基礎医学、臨床医学及び社会医学の研究者及び教育者
- (4) 広い視野を持ち、医療政策の立案・実施に携わる医療行政担当者

保健学科は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1) 高度化・専門化する保健医療の担い手となる、看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士及び作業療法士
- (2) 医療技術の学問体系の確立と発展に寄与しうる専門職
- (3) チーム医療においてリーダーシップを発揮できる人材
- (4) 国際社会で活躍できる専門職

【理工学部】

本学部は、21世紀の人類が進むべき新たな指針を見だし、人と自然との調和のとれた豊かな未来社会を創造するため、高い専門的能力と健全な理念を持ち、地域・社会、日本、そして世界に貢献できる人材を育成することを目的とする。

目的を達成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次の各号に掲げる教育を行うものとする。

- (1) 理学に根ざした俯瞰的な物の見方、考え方を身に付け、工学に根ざした実践的・独創的な課題解決能力を養う理工学教育
- (2) 国際的な水準を満たし、かつ、各教員の特長を生かした教育
- (3) 個人の発想や知的好奇心を尊重し、未知の分野に挑戦する活力と創造性を育む教育
- (4) 国際コミュニケーション能力を備え、世界を舞台に研究者・技術者として活躍できる人材を育成する教育

◆大学院

【教育学研究科】

研究科は学部教育を基盤とし、教育・研究の成果を社会へ還元することを目的とし、次の各号に掲げる人材を育成する。

- (1)優れた教育倫理と豊かな学識を有し、教育諸科学に関する高度な専門的知識・技能及び実践力を備え、教育現場において指導的な役割を担える教員
- (2)学校教育及び種々の教育的場面における現代的諸課題に対応できる研究開発能力及び実践力を備えた人

【社会教育学研究科】

研究科は、人文・社会科学と情報科学に関する学識を兼ね備え、現代社会の多面的な諸問題に対する洞察力をもってその解決に関与できる高度専門職業人及び実践的研究者としての基礎学力の涵養を目指し、社会人再教育と留学生受入れを含めて地域社会や国際社会に貢献することを目的とする。

【医学系研究科】

修士課程生命医科学専攻は、医学の基礎知識の上に、発展を続ける生命科学を医学との関連において教授することにより、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1)自らが研究を立案し遂行することのできる生命医科学研究者及び学際的医学研究者
- (2)医学と生命科学の関連領域における高度専門職業人

博士課程医科学専攻は、次の各号に掲げる事項を目的とする。

- (1)医の科学(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の探求とそれらの統合による医学の研究と教育の推進並びに医学と医療をリードする人材の育成
- (2)疾病の病因究明及び体系的治療戦略の開発を通じての社会への貢献
- (3)優れた医学の研究者と教育者の育成を通じての社会への貢献
- (4)高い倫理観と卓越した臨床能力を持つ医療人の育成を通じての社会への貢献

【保健学研究科】

博士前期課程は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1)全人的医療を理解し、高度な専門知識と技術を有する者
- (2)専門分野での教育や研究を実践するための基礎的な能力を有する者
- (3)地域の保健医療・福祉専門職として活動が実践できる者
- (4)国際的な保健医療・福祉分野の活動が実践できる者

博士後期課程は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。

- (1)保健医療・福祉分野で、独創的あるいは学際的な研究が実践できる者
- (2)保健医療・福祉分野で、高度な教育が実践できる者
- (3)保健学の高度な専門知識と技術を有し、保健医療・福祉分野での指導者となる者
- (4)国際的な保健医療・福祉分野で、指導や教育及び研究が実践できる者

【理工学府】

学府は、多様化・複層化が深化する産業活動における諸課題に対して俯瞰的なものの見方と、総合的実践力・独創力を発揮することにより、これらに適切に対処していくことのできる人材、さらに、社会の革新・成長を牽引するリーダーとして社会の各分野で活躍できる実践的かつ独創性を有する高度な研究開発人材を育成することを目的とする。

目的を達成するため、理学と工学の分野融合による教育研究活動を基盤に次の各号に掲げる教育を行うものとする。

- (1) 従来の学問分野の枠を超えて俯瞰的に問題を把握し、知識を総合化して課題を解決できる能力を養う高度な理工学教育
- (2) 各教員の特長を活かした先端的研究の実践を通じて、自ら新たな課題を発見し挑戦する創造性と実践力を養う教育
- (3) これからの研究者・技術者に求められる技術マネジメントなどに関する基礎的素養と高い倫理観を養う教育
- (4) 先端研究者・高度専門技術者としてグローバルに活躍するための国際コミュニケーション能力を養う教育

◆附置研究所

【生体調節研究所】

研究所は、生体調節に関する医学及び薬学の学理の探求及び応用研究を行うことを目的とする。